

令和6年度事業実施報告

令和6年度に実施した事業一覧を以下に示す（表1）。

表1. 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ) 令和6年度事業実施一覧

事業名	日程	備考
1.事業推進計画の策定及び推進		
令和6年度 第1回事業推進委員会 (書面付議)	R7.2月	令和7年度事業実施計画及び令和6年度の活動内容について審議・策定
2.教務関係の活動		
認プロ e-learning 講義科目の提供	通年	e-learning による講義科目全40コマを提供
デメンシアカンファレンス	年8回	10施設(4大学・6病院)・Web会議システムにて実施 8回/年(4、6、7、9、10、12、1、2月)

1. 事業推進計画の策定及び推進

(1) 令和6年度の事業推進計画

令和6年度の事業推進計画を、令和6年3月1日開催の「令和5年度第1回事業推進委員会」における審議の結果に基づき策定した。

(2) 北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン事業共同実施協定に基づく事業の継続

平成31年3月31日をもって文部科学省の補助金事業「課題解決型高度医療人材養成プログラム」が終了したため、平成31年4月1日付けで、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学の4大学間で新たに「北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン事業共同実施協定」を締結した。令和元年度よりこの協定に基づき各大学において予算を確保し、当事業の実施を継続している。

(3) 事業推進委員会の開催

令和7年2月6日、書面付議にて、「令和6年度第1回事業推進委員会」を開催する。令和6年度の活動内容を踏まえ、令和7年度以降の事業実施計画について審議・策定する。

2. 教務関係の活動

(1) 教育コース履修者の修了を目的とした活動の継続

平成27年4月から、金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学において教育コース履修者の受入を開始した。令和5年度をもって新規募集を終了し、現履修者の修了を目的とし、令和8年度までは活動を継続していく。

新規募集は終了しているが、希望があったため令和6年度はスペシャルコース（病理）で1名履修者を受け入れた。

令和7年2月1日現在、コース別の履修者数は、【本科コース】11名、【インテンシブコース】58名、【スペシャルコース】6名、【スーパーコース】2名であり、修了者数は【本科コース】9名、【インテンシブコース】29名である。（表2）。

表2. 各教育コース募集人員および履修者・修了者数(令和7年2月1日現在)

大学名	教育コース名	修業年限	履修開始者数(名)										修了者数 (累計)
			H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	
金沢大学	認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	4年	5	1	2	0	0	2	2	0	0	0	4名
	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	1年	1	16	10	7	2	3	5	5	3	0	18名
	認知症・神経難病の臨床神経病理研修コース(スペシャル)	1年	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0名
	地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コース(スペシャル)	1年	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0名
	認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒後一貫教育コース(スーパーコース)	1年	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0名
富山大学	認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	4年	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1名
	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	1年	2	5	2	0	1	0	0	2	1	0	5名
福井大学	認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	4年	1	2	2	0	0	1	0	0	0	0	2名
	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	1年	2	12	3	2	0	0	1	0	1	0	6名
金沢医科大学	認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)	4年	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2名
	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)	1年	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0名
合計			21	40	24	10	4	6	8	7	5	1	38名

※富山大学の本科コースに2名、金沢医科大学の本科コースに2名、インテンシブコースに5名、福井大学のインテンシブコースに1名辞退あり。

(2) 認知症メディカルスタッフ e-learning 講座の継続開講

平成27年度より開設しており、令和5年度をもって新規募集を終了した。現行受講者に対しては令和8年度(令和9年3月31日)まではe-learning 講座の提供を継続する。

(3) プロフェッショナル科目の提供

認知症プロフェッショナル科目のうち e-learning による講義科目は、全40コマを提供している(表3)。

表 3. e-learning 講義科目一覧

科目	回	テーマ	授業担当者名	授業担当者所属
1 認知症基礎	1	認知症の概要と疫学	山田 正仁	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院
	2	認知症の病理学	坂井 健二	上越総合病院 神経内科
	3	認知症の分子遺伝学	濱口 毅	金沢医科大学 脳神経内科
	4	認知症の神経化学（神経伝達物質）・神経免疫学	岩佐 和夫	石川県立看護大学
	5	認知症の蛋白化学	小野 賢二郎	金沢大学医薬保健研究域医学系
	6	アミロイドシスの分子機構	内木 宏延	福井大学医学部 分子病理学
2 認知症症候学	1	認知症の中核症状と BPSD	上原 隆	金沢医科大学 精神神経科学
	2	老年期の精神障害と認知症	川崎 康弘	金沢医科大学 精神神経科学
	3	老年期の気分障害と認知症	北村 立	石川県立こころの病院
	4	老年期の不安障害、睡眠障害、せん妄と認知症	田中 悠二	明石こころのホスピタル
	5	軽度認知障害	池田 篤平	金沢大学附属病院 脳神経内科
	6	認知症高齢者に合併しやすい身体症状とその対応	大黒 正志	金沢医科大学 高齢医学
3 認知症検査・診断学	1	認知症診療に必要な神経心理検査	東間 正人	医療法人社団青樹会 青和病院
	2	認知症の画像検査 1 (CT,MRI,MIBG,DAT imaging)	吉田 光宏	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
	3	認知症の画像検査 2 (脳血流 SPECT, FDG-PET, アミロイド PET)	松成 一朗	埼玉医科大学病院 核医学診療科
	4	認知症の血液・脳脊髄液検査	篠原 もえ子	金沢大学医薬保健研究域医学系
	5	認知症の神経生理検査ー脳波ー	東間 正人	医療法人社団青樹会 青和病院
	6	認知症診断のすすめ方	池田 篤平	金沢大学附属病院 脳神経内科
4 認知症治療・予防学	1	認知症の治療総論 (薬物, ケア, リハビリ, 終末期医療をふくむ)	森本 茂人	ののいちメディカルクリニック 老年内科
	2	高齢者の薬物動態	森本 茂人	ののいちメディカルクリニック 老年内科
	3	抗認知症薬	濱野 忠則	福井大学医学部 病態制御医学内科学 (2)
	4	BPSD の治療	橋本 隆紀	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
	5	生活習慣と認知症予防	篠原 もえ子	金沢大学医薬保健研究域医学系
5 認知症ケア・リハビリ・地域支援・倫理	1	認知症のケアとリハビリの基本・原則	木戸 幹雄	木戸クリニック
	2	認知症ケアの実践	島崎 正夫	医療法人社団和敬会 谷野呉山病院
	3	認知症リハビリの実践	横川 正美	金沢大学医薬保健研究域・医学系 リハビリテーション科学
	4	社会環境・資源 1 (認知症に関わる制度・政策)	北村 立	石川県立こころの病院
	5	社会環境・資源 2 (生活支援と地域連携)	北村 立	石川県立こころの病院
	6	認知症の人への配慮、法・倫理	北村 立	石川県立こころの病院
6 認知症各論 I	1	アルツハイマー病	山田 正仁	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院
	2	レビー小体型認知症	吉田 光宏	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
	3	前頭側頭葉変性症	鈴木 道雄	医療法人社団四方会 有沢橋病院
	4	進行性核上性麻痺／大脳皮質基底核変性症	坂井 健二	上越総合病院 脳神経内科
	5	嗜銀顆粒性認知症／神経線維変化型老年期認知症	山田 正仁	国家公務員共済組合連合会 九段坂病院

7 認知症各論 II	1	血管性認知症	高嶋 修太郎	JCHO 高岡ふしき病院
	2	正常圧水頭症, 慢性硬膜下血腫, 頭部外傷	富岳 亮	金沢医科大学 氷見市民病院 脳神経内科
	3	代謝性疾患, 炎症性疾患, その他	林 浩嗣	福井医療大学保健医療学部 リハビリテーション学科
	4	プリオン病	濱口 毅	金沢医科大学 脳神経内科
	5	認知症と鑑別すべき精神疾患	高橋 努	富山大学大学院 医学薬学研究部 神経精神医学講座
	6	若年性認知症	濱野 忠則	福井大学医学部 病態制御医学内科学 (2)

(4) デメンシアカンファレンスの開催

平成26年度末に策定し、平成30年3月14日の「平成29年度第3回教務委員会」で改定を行った「デメンシアカンファレンス(DC)の運営手順」に基づき、10施設(金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学、国立病院機構医王病院、石川県立高松病院、国立病院機構北陸病院、医療法人社団和敬会谷野呉山病院、医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院、福井県立すこやかシルバー病院)を Web 会議システムで結び、デメンシアカンファレンスを1年に8回開催している。デメンシアカンファレンスは、認知症プロフェッショナル科目の1コマ分に充当する(表4)。

Web 上で開催したデメンシアカンファレンスは、リアルタイムで視聴できない参加者の為に録画し、次のデメンシアカンファレンス開催までの間あるいは1か月間、パスワードと ID を所有する人が視聴できるようにしており、認プロのホームページ上に案内を掲載している。

令和6年4月から令和7年2月までに開催された第102回から第109回までのデメンシアカンファレンスに延べ273名が参加し、うち教育コース履修者は延べ56名であった。各大学から診断や治療に難渋した症例が提示され、毎回活発な議論が行われている。

表4. 令和6年度デメンシアカンファレンス

回	開催日	担当大学	症例
第102回	4/17	金沢医科大学	異常行動で始まり亜急性に認知機能障害・精神症状が進行し、診断に難渋した1例
第103回	6/18	金沢大学	繰り返す痙攣発作を呈したアミロイド陰性認知症患者の一例
第104回	7/23	富山大学	認知機能低下の原因としてビタミン B12 欠乏が疑われた1例
第105回	9/17	福井大学	虚言と前頭葉萎縮を認める中年男性の診断は？
第106回	10/1	金沢医科大学	緊張病症状を呈したレビー小体型認知症の一例
第107回	12/17	金沢大学	当科におけるレカネマブの使用経験
第108回	1/29	富山大学	行動異常で発症した、びまん性白質脳症の1例
第109回	2/5	福井大学	悪性腫瘍の治療中に言動の異常を認めた1例